

## 大塚製薬 環境社会報告書2010体系

冊子版

+

Webサイト



冊子版では、大塚製薬の主要な取り組みを読みやすく編集した記事を中心に、ご紹介しています。



Webサイトでは冊子版の情報に加えてより詳細な情報および各種データを掲載しています。

▶ <http://www.otsuka.co.jp/environment/>

### 編集方針

大塚製薬 環境社会報告書の編集方針は、「情報の正確さ」「わかりやすさ」「ステークホルダーのご要望への対応」です。具体的な数値目標を設定して実行し、その推移を追っているものを記載することを原則としています。

2009年のテーマは「環境の学校」とマテリアリティを持たせ「低炭素社会への取り組み」「循環型社会への取り組み」「製品の取り組み」「社会貢献の取り組み」に重点をおきました。今後も環境問題や社会活動について、まず私たち自身が「学ぶ」という意識のもとに行動してまいります。

### 対象組織

この環境社会報告書は、2009年度における大塚製薬株式会社の活動を掲載しています。対象となる事業場は、大塚製薬株式会社の医療関連事業と消費者関連事業の主要工場である7事業場と3研究所および本社、事業所を含む販売事業所です。（報告書中の7事業場とは、徳島工場、徳島第二工場、徳島ワジキ工場、徳島板野工場、佐賀工場、高崎工場、袋井工場と徳島エリアの10研究所、佐賀栄養製品研究所を指します。また、3研究所とは赤穂研究所、大津栄養製品研究所・大津スキンケア研究所、藤井記念研究所を指します。）

### 対象期間

データは2009年4月1日から2010年3月31日の実績です。なお、活動の記載については直近のものを含みます。

### 発行時期

2010年8月  
次回発行は2011年8月の予定です。

※この報告書は、環境省「環境報告書ガイドライン2007年版」「環境会計ガイドライン2005年版」およびGRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3版」を参考にしています。

※活動の内容や報告書の質を高めるために参考とさせていただきますので、みなさまの報告書に対するご意見・ご感想をアンケートに記載の上、総務部環境担当までお寄せください。

## 目次

環境宣言、会社概要	1
編集方針、目次	2
ごあいさつ	3-4
企業理念、環境基本理念	4
2009年度環境・社会活動ハイライト	5-6

### 環境マネジメント

環境マネジメントシステム	7-8
環境目標	9-10

### 環境パフォーマンス

環境負荷の概要	11
環境会計	12
<b>低炭素社会への取り組み</b>	<b>13-18</b>



地球温暖化防止、省エネルギーの取り組み	17-18
物流	18

### 循環型社会への取り組み 19-24



省資源、廃棄物の排出抑制の取り組み	21
グリーン購入の取り組み	23
化学物質の管理	25
大気・水系への排出抑制	26
医薬品、飲料業界の現状	26

### 製品・技術開発

#### 社員座談会 環境配慮型製品 27-30



### 社会的パフォーマンス

社会とのコミュニケーション	31-38
健康に役立つ情報の発信	
<b>熱中症予防啓発活動</b>	<b>32-34</b>



お客さまとのかかわり	39
コンプライアンス	40
リスクマネジメント	40
社員とのかかわり	41

第三者意見	42
編集後記	42